

# 仕事いきいき

## さんいん職場探訪

2012年、建設業の東西建設(益田市久々茂町)は当時60歳だった男性社員をがんで亡くした。「もう病気で仲間を失いたくない」との思いで、翌年から社員の健康を守るヘルスマネジメントを推進。禁煙誘導や手厚い健康診断により病気の早期発見や予防に努め、企業の活力につなげて

### 東西建設「ヘルスマネジメント推進」



喫煙者の社員に禁煙を勧める吉部八十一会長(左端)＝益田市久々茂町、東西建設

# 健康維持 企業の活力に

亡くなった社員は臓器がた状態で見つかった。吉部なら命を落とすことはなか

### 会社概要

1984年3月創業。土木工事やのり面処理工事などを手掛ける。全国健康保  
険協会(協会けんぽ)から2018年にヘルスマネジメント認定、経済産業省から20年に健康経営優良法人(中小規模法人部門)認定を受けた。

ったかもしれない」と悔やむ。

健康管理を強化するた

め、年1回の健康診断の

検査項目を見直し、通常の

健診には含まれない胃力

メラと腹部エコーを全従業

員に受けさせるようにし

た。その後、従業員2人に

がんの前段階に当たる「上

皮内がん」が発見され、い

ずれも早期治療で回復し

た。

土木工事を主体とする社

員13人の会社にとって、病

気療養の長期休職が1人で

も出れば、仕事は回らず受

注にも支障が出る。社員の

健康は、経営に直接的に関わる問題だ。10年ほど前、社内に11人いた喫煙者の禁煙も推進してきた。喫煙率が8割を超

える状況にあって、非喫煙者に加え、禁煙宣言をした社員にも月3千円を支給す

る。「健康手当」を創設。建物内の全面禁煙などを進め

た結果、喫煙者は6人まで減った。

13年に率先して禁煙した藤井正利工務課長(47)

は「禁煙者の前では吸いにくいという遠慮が新たな禁煙挑戦者を生み、非

喫煙者が働きやすい職場に変わってきている」と語る。

ただ目指しているのは喫煙者ゼロ。社員宅には、吉部八十一会長(72)から定期的に手紙が届く。家族に向けて禁煙の協力を要請する内容だ。

吉部会長は「健康維持も禁煙も1人では孤独になりがち。会社と家族の支えが

あると挑戦の意欲は高まる」と話し、目標達成に向け粘り強く呼び掛けを続ける考えだ。

(村上栄太郎)